

第 87 回大阪地方メーデー宣言

本日、私たちは第 87 回大阪地方メーデーを開催した。

4月14日以降、熊本県で発生した巨大地震は、継続的かつ広範囲に甚大な損害を与えた。一連の地震災害で尊い命を失われた方々のご冥福を心よりお祈りするとともに、被害に遭われた方々、避難を余儀なくされた方々にお見舞いを申し上げます。

私たちは自然の脅威と向き合いつつ、お互いが力を合わせ、支え合い助け合い生きていかなければならない。また東日本大震災から 5 年が経過した今も、多くの方々が心の苦しみを抱え、不自由な生活を強いられていることを、私たちは決して忘れてはならない。連合大阪は連合に結集し、被災地の復興・再生を引き続き全力で支えていくとともに、震災を決して風化させないよう、被災地はもとより、全国の仲間や大阪で志を同じくする団体とともに、連携した取り組みを継続・強化していく。

メーデーは労働者の国際連帯の日である。私たちは、国際労働組合総連合（ITUC）と連携し、戦争や紛争、テロなど世界平和を脅かす要因ともなる、貧困や飢餓、環境破壊や人権侵害の撲滅に立ち向かい、世界のすべての人々にディーセント・ワークを実現していかなければならない。そのためにも、私たちは、この大阪で自由で民主的な労働運動とすべての働く者の幸福を実現するための取り組みに力を注いでいく。

一方、国内においては、働き方や性別、地域の違いなどによる格差や低所得、将来不安を原因とする長期デフレからの脱却が喫緊の課題となっている。これらの課題を克服し、経済の好循環を実現させるために、2016 春季生活闘争を通じたすべての働く者の「底上げ・底支え」「格差是正」の実現を図る。加えて、雇用、労働、福祉など政策・制度の実現を通じた雇用の安定と質の向上や、子育て、医療、介護などの社会的セーフティネットの拡大・強化による将来不安の解消、さらには労働組合づくりを通じた集团的労使関係の拡大を進めなければならない。

今こそ、暮らしの底上げが必要である。大阪における働く者を取り巻く課題は多いが、パートや派遣、有期などで働く非正規労働者や中小・地場企業で働く労働者、未組織労働者とも手を携え、すべての働く者・生活者を代表し、志を同じくする関係団体やNPO・NGOとの連携を深め、真面目に働く人が報われ、安心して子育てや老後の生活を送るためにも「働くことを軸とする安心社会」をつくろう！

以上、宣言する。

2016 年 5 月 1 日
第 87 回大阪地方メーデー